



製品名 : 塩化第二鉄液 40Be

1.製品及び会社情報

製品名	塩化第二鉄液 40Be
会社名	埼玉薬品株式会社
住所	埼玉県さいたま市見沼区卸町1-43
電話番号	048-686-5221
FAX番号	048-686-3332
推奨用途及び使用上の制限	銅、鉄等の金属エッチング及び排水処理時の凝集剤用途
整理番号	ATT-0417

2.危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

- ・急性毒性(経口) : 区分4
- ・皮膚腐食性/刺激性 : 区分1
- ・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1
- ・特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分2 全身毒性
区分3 気道刺激性

環境有害性

- ・水生環境有害性 短期(急性) : 区分3
- ・水生環境有害性 長期(慢性) : 区分3

(注)記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

- : 飲み込むと有害
- 重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷
- 呼吸器への刺激のおそれ
- 全身毒性の障害
- 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

- : 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 取扱後は手をよく洗うこと。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急処置

- 飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は医師に連絡すること。
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- 皮膚(または髪)に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

- 貯蔵 : 換気の良い場所で保管すること。
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。
- 廃棄 : 内容物/容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼すること。
- 特定の物理的及び化学的危険性 : 情報なし

3.組成及び成分情報

化学物質、混合物の区別 : 混合物

成分名	CAS番号	化審法番号	重量パーセント濃度(w/w%)
塩化第二鉄	7705-08-0	1-213	≥37.0
塩化第一鉄	7758-94-3	1-213	≤0.30
塩化水素	7647-01-0	1-215	≤0.50
水	7732-18-5	-	残分

注記 : これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分
塩化第二鉄、塩化第一鉄、塩化水素
安衛法「通知すべき有害物」該当成分
塩化第二鉄、塩化第一鉄、塩化水素
化管法「第1種指定化学物質」該当成分 : なし

4.応急措置

- 応急措置の記述
- 一般的な措置 : 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診察/手当てを受けること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診察/手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合 : 医師の診察/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。
直ちに医師に連絡すること。

5.火災時の措置

- 消火剤
- 適切な消火剤 : 周辺火災に応じた消火剤を使用すること。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
- 消火を行う者への勧告
- 特有の消火方法 : 関係者以外は安全な場所に退去させる。
漏洩した場合、着火源を除去すること。
霧状水により容器を冷却する。
安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護する。

消火水の下水への流入を防ぐ。

消火活動を行う者の特別な保護具
及び予防措置

: 防火服又は防災服を着用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火作業の従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具
及び緊急時措置

: 区域より退避させる。
関係者以外は近づけない。
換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。
適切な保護具を着用する。
着火源を取り除くとともに換気を行う。

環境に対する注意事項

: 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

: 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
多量に流出した場合、盛土で囲ってのちに処理する。
回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止対策

: 露出物を回収すること。
着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。
安全に対処できるならば漏洩を止めること。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: (取扱者のばく露防止)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
: (火災・爆発の防止)
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
: (局所排気、全体換気)
排気/換気設備を設ける。
: (注意事項)
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

: 使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み、理解するまで取扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避

: 強酸性なのでアルカリ性物質との接触を避けること。

衛生対策

: 眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

: 直射日光を避け、換気の良い場所で保管すること。
: 容器を密閉すること。涼しいところに置くこと。施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

: ポリ容器、ガラス容器。

8.ばく露防止及び保護措置

管理指標	
管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	: 塩化第二鉄 ACGIH TLV-TWA 1mg/m ³ (Feとして) 塩化第一鉄 ACGIH TLV-TWA 1mg/m ³ (Feとして) 塩化水素 日本産衛学会 2ppm;3.0mg/m ³ ACGIH STEL 2ppm
ばく露防止	
設備対策	: 排気/換気設備を設ける。 洗眼設備を設ける。 手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具	
呼吸用保護具	: 呼吸器用保護具を着用すること。
手の保護具	: 保護手袋を着用する。推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム
眼、顔面の保護具	: 側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣を着用する。 繰り返し又は長時間取扱いの場合、耐浸透性の保護衣とブーツを着用する。

9.物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態	: 液体
色	: 茶褐色
臭い	: わずかに塩酸臭
臭いの閾値	: データなし
融点/凝固点	: -32°C(結晶析出温度)
沸点又は初留点	: 107.3°C
沸点範囲	: データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)	: 不燃性液体
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	
爆発下限	: データなし
爆発上限	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 強酸性
動粘度	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	
水に対する溶解度	: 任意の割合で混和
溶媒に対する溶解度	: エタノール、アセトンに混和
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸発速度	: データなし
密度及び/又は相対密度	1.384±0.005(15°C)
相対ガス密度(空気=1)	: データなし
粒子特性	: データなし

10.安全性及び反応性

反応性	: 多くの金属を腐食させる。
化学的安定性	: 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	: 加熱すると分解し、有毒で腐食性のガスを生じる。(塩素ガス、塩化水素ガス等)
避けるべき条件	: 高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。
混触危険性物質	: アルカリ性物質、金属類。
危険有害な分解生成物	: 加熱等により、分解した場合塩素ガス、塩化水素ガス等の有害

腐食性のガスを発生する恐れがある。

11.有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)	: 区分4
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入)	: 分類できない
労働基準法 疾病化学物質	: 塩化水素

局所効果

皮膚腐食性/刺激性	: 区分1
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	: 区分1
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性－単回ばく露	: 区分1(全身毒性) 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性－反復ばく露	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

12.環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)	: 区分3
水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分3

残留性/分解性	: 分類できない
生体蓄積性	: 分類できない
土壤中の移動性	: 分類できない
他の有害影響	
オゾン層への有害性	: 分類できない

13.廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法	: 環境への放出を避けること。 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。 承認された廃棄物集積場で処理する。 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。
汚染容器及び梱包	: 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14.輸送上の注意

国連番号、国連分類

海上輸送

国連番号 UN NO.	: 2582
日本語品名	: 塩化第二鉄(溶液)
分類	: 腐食性物質
クラス 等級	: 8
容器等級 パッキンググループ	: III

航空輸送

国連番号	: UN2582
日本語名称	: 塩化第二鉄(溶液)
分類、区分番号	: 8
ラベル	: Q

等級	: 3
特別規定	: A3
緊急時応急措置指針番号	: 154
環境有害性	: 情報なし
特別の安全対策	: 情報なし
国内規制がある場合の規制情報	
船舶安全法	: 腐食性物質
航空法	: 腐食性物質

15.適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規制/法令

労働安全衛生法

塩化第二鉄、塩化第一鉄、塩化水素	: 名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令第18条別表第9) 名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
塩化第二鉄、塩化水素	: リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3)
塩化水素	: 腐食性液体(労働安全衛生規則第326条) 特定化学物質第3類物質(特定化学物質障害予防規則第2条第1項第6号)

毒物劇物取締法

	: 本品としては該当しない
塩化水素 劇物(法第2条別表第2)(塩化水素を含有する製剤。ただし、塩化水素10%以下を含有するものを除く。)	

化学物質管理促進(PRTR)法

: 該当しない

航空法

塩化第二鉄、塩化第一鉄、塩化水素	: 腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
------------------	-----------------------------

船舶安全法

塩化第二鉄、塩化第一鉄、塩化水素	: 腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
------------------	--------------------------

大気汚染防止法

塩化水素	: 特定物質(法第17条第1項、政令第10条)
------	-------------------------

海洋汚染防止法

塩化水素	: 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
------	-------------------------

労働基準法

塩化水素	: 疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)
------	---------------------------------------

16.引用文献

参考文献

含有成分のSDS

職場のあんぜんサイト

NITE-CHRIP NITE化学物質総合情報提供システム(NITE Chemical Risk Information Platform)

GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援システム(NITE-Gmiccs)

ここに記載したデータは必ずしも十分ではないので、取扱い等については十分注意して下さい。

このSDSは、JIS Z 7252,7253 : 2019に準拠し作成したものである。

このSDSは、一般に入手可能な文献および自社データに基づいて作成したものである。

このSDSは、基本的な取扱い等について記載したものであり、安全保証書を意図したものである。

従って、ここに記載した製品の取扱い又は保管時における事故に対して、責任や保証を約定するものではない。